



広報

なまじん

1990年

7月

No. 176

村章

毎月1日発行



架橋実現にむけ語り合う 左から平敷県農林水産部長、上間村長、大城助役、水谷振興局長、松村総合事務局次長

沖繩開発庁水谷振興局長が古宇利島を視察 架橋の早期実現を要請

沖繩開発庁の水谷文彦振興局長が六月十二日古宇利島を訪れました。村からは上間博安村長をはじめ助役各課長。議会から正副議長と各常任委員長が同行、港湾、漁港、農道の実情を視察されました。

大漁旗を掲げた漁船の歓迎のなか島に降り立った水谷振興局長御一行を島の人々が総出で迎えました。

歓迎式で上間博安村長は古宇利架橋が一日も早く実現するようあいさつ。また、古波津忍区長も「古宇利は農業と漁業の盛んな島ですが離島ということで産物の出荷をはじめ子供の教育、医療など生活全般にわたるハンディはとて大きく古宇利架橋が早期に実現することにより離島苦が解消されます」と水谷振興局長のお力添えをお願いします。

それに対し、水谷振興局長は「架橋のご要望があること、架橋が地域発展のために大変重要なことも心得ております。今後とも沖繩県と十分相談しながら対応させていただきたい」と前向きに答え、離島苦解消に理解を示しました。

今帰仁村の人口
平成2年5月31日現在



村の人口 9,657(+5)

今、青年に求められるもの

青年リーダーが研修会

青年リーダー研修会が教育委員会と村青年団協議会（大城隆徳会長）の共催で五月二十五日村中央公民館研修室において行われた。

近年は青年団活動も会員の減少や急激に変化する社会の中で課題が多様化しており運営がむつかしくなってきた。そこで各字の青年が一同に集いじっくりと語り合い交流を深めるとともに、青年のおかれてる現状とこれからの活動の方向をさぐることを目的として研修会が実施された。

研修会では「今、青年に求められるもの」と題して、元名護青年の家所長仲地清雄氏を講師に迎えて次の要旨で講演が行われた。

社会の中で青年の果たす役割は大きいにもかかわらず、なかなか地域の活動に青年の力が反映されない。今帰仁村青年団協議会の場合是一年で三十六万円の補助金が村から出ているそうであるが、その少ない予算を最大限に生かして、地域の活性化に寄与することはできるはずで



▲具体例を示しながら語る仲地清雄先生

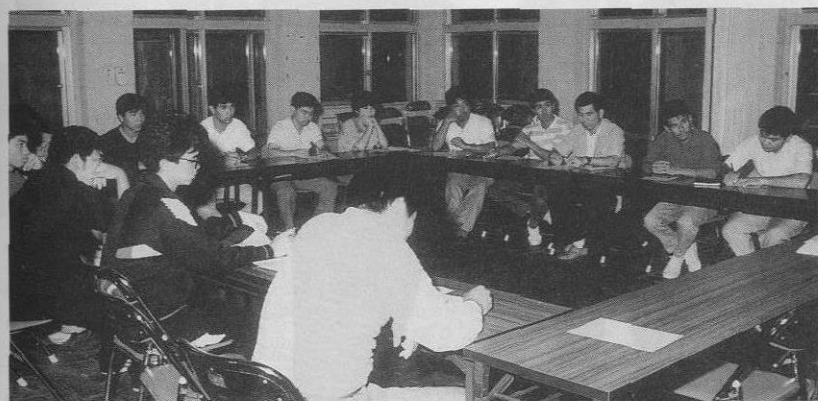
ある。

宜野座村では、各字のリーダーが集まって青年教室が行われている。また、宜野座村の福山区は人口二百十三名。青年会が目標として掲げていることは、村の駅伝大会に優勝することであった。青年会が活動費として区からいただく補助金はわずかな間一万五千円。

そこで福山区のスポーツ振興費から予算を出してもらい一週間の合宿を行った。こうした青年会の熱心に動かされた地域の人々は米やビールなどを寄附して区をあげての応援となった。青年会の会員も区民の期待に応えようと練習にもますます

熱が入り上位入賞を果たした。青年たちにとっては大きな自信につながったが、それと同時に区民の中で融和が創りだされたことがとても重要なことである。

また漢名の産業共進会では区が青年のために場所を提供し、農業青年はイモやゴーヤー、野菜、漁師は魚などを販売して青年会の予算づくりをしている。他の団体と連携をとりながら



▲「考え、出番をつくり実践する青年」について学ぶ

創意工夫をすることによって、少ない予算を賡ますことができるとともに、若者に課せられるべき役割を、若者の持つバイタリティあふれる考えを地域づくりに生かすために、どんどん「出番」をつくり出してほしい。

例えば金武町伊芸区では公民館審議委員会に青年を加えて、若者の意見を取り入れている。

それに伝統芸能の南風の島（フェーぬ島）を毎週一回練習し、一年間つづけている。その他、跡絶えていた綱引きも青年会が力を合わせて復活させた。

池原政文伊芸区長は青年の「出番」を旨く創り出して区の活性化を計っている。若者に課題を与えて、ともに「考える」ことが実践につながるものである。各自が持っている特技や趣味をただ自分の世界の中だけで留めておくのではなく、それらを地域の活動の中に生かすことができたら素晴らしいことであり、これが地域に対する思いやりである。

青年が地域に望まれていることのひとつには、後輩の育成指導がある。次の青年リーダーを育てるためにも、青年会と子ども会などが一緒になって、リクレーションをしたり、村の中の奉仕活動を実践してみてもいいのではないか。

青年会活動で重要なことは、まず考えたことを実践してみることです。

仲間を集めるために、ポスターを作ったり、新聞を発行し配ったり、青年会を地域の人々に大いにPRすることはとても大事なことです。青年会活動は広報活動で始まり広報活動で終わると言っても過言ではないといわれる。青年会誌を出版し、同じ世代の仲間がどんな悩みを持っているか、どんな夢を持っているかを知ってもらい、仲間の輪を広げていく。さらに地域に貢献する青年会へと成長していつてもらいたいものである。

仲地清雄氏は講演の中で今、青年に求められているものは「思いやりのある行動」であることを強調し、青年の要求や地域社会の実態に即した活動方針を立てそれを基にプログラムを作成し実践することを力説した。

講演後、各字の青年リーダーが情報の交換をしながらの楽しい懇談の時をすごした。



▲新しい時代の農業について審議する組員

総会にあたり、組合長の玉城賢三氏は「平成元年度の我が国の経済は貿易不均衡は正のため内需拡大政策を背景に国際収支の改善を強く求められた厳しい年であった。今年度も引き続き構造の改善を前提に極めて厳しい情勢を迎えるものと思料される。最近の農業を

農産物の品質向上と出荷量の増大めざす



今帰仁村農業協同組合総会

通常総会



▲玉城賢三組合長

今帰仁村農業協同組合の平成二年度通常総会が五月二十四日午後二時から村コミュニティセンターにおいて、六百七十九名の組合員が出席して盛大に行われた。

取りまく環境は、海外から市場開放圧力、農産物の内外価格差は正要求、金融の自由化、県産主要作物のひとつ、さとうきび価格の据え置き、平成六年度からは品質取り引き移行の決定。さらに、平成二年四月からは、バインアップルの輸入自由化、平成三年四月からは牛肉の輸入自由化と厳しさに拍車がかかっている。そうした一方では、ウリミバエ撲滅による歴史的な解禁が近づいてきた。解禁によって、そ菜果実の鮮度、品質の向上が図られることはむろんのこと、生産性、県外出荷量の増大が大いに期待されるところである。農業の生産性向上の地域的展開をふまえながら、各種事業に積極的に取り組み、組合員の期待と信頼に応えたい」とあいさつ。

また、上間博安村長をはじめ来賓の方々から祝辞がおくられた。その後、優良生産農家として仲尾次政助さんほか八十六名の個人と貯金・共済の部で宇渡喜仁ほか六団体が表彰を受け、表彰状と記念品が授与された。引き続き、盛琉球芸能の吉田安盛、盛和子さん御一行によるお笑い劇「トックイグワー」をはじめ、祝い節、村興こし、三村節などの民謡と琉球舞踊でにぎわった。

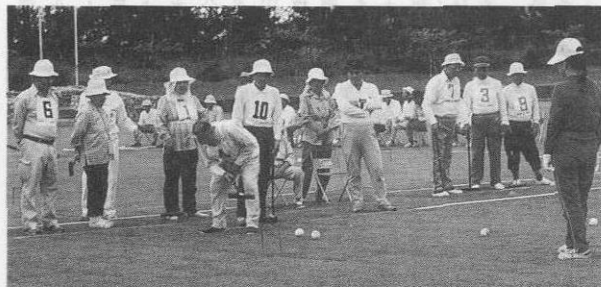
おじいさんから孫まで ふれあいのダンス・グラウンドゴルフ ゲートボール楽しむ

村民レクレーション大会

教育委員会では村民が一堂に会し「健康とふれあいの輪を抜けよう」を大会テーマに第六回村民レクレーション大会を六月三日総合運動公園で開催した。大会はあいにくの悪天候にもかかわらず、小学生から高齢者まで多くの村民が参加し、親子ソフトボール、グラウンドゴルフ、民謡、フォークダンス、ゲートボールと楽しいひとときを過ごした。

親と子のふれあいと地域の交流を目的とした親子ソフトボールは親子の息のあった好プレーや珍プレーありと盛り上がった。天底チームと兼次・諸志チームが決勝で対戦した結果、天底チームが優勝した。

また、グラウンドゴルフは婦人会を中心にゴルフポストをめざして、子供から高齢者まで年齢差を越えたプレーとなった。三十七チームが参加したゲートボールはハイレベルの競技が展開され、竹馬西チーム(仲宗根)が優勝。玉城Aチームが準優勝した。



▲ゲートボールは若さを保つ秘訣



▲ガッツポーズで優勝を喜ぶ渡喜仁消防団

豊漁と航海の安全を祈願 強風の中海神祭

勇壮な海の祭典「海神祭」が五月二十七日午後二時から運天港で行われた。

これは水産業の発展と航海の安全を願って、毎年旧暦五月四日に今婦仁漁業協同組合（平良正男組合長）が催しているもの。海神祭は久しぶりの日曜日に開催されるとあって、親子づれを中心に約三千人の観客の見守る中、ハーリーとジェットスキー、カヌーのデモンストレーシ

ョン、それに沖縄角力大会が行われた。

漁協組合員による御願ハーリーに続き、今婦仁無線クラブ、商工会青年部、仲宗根消防団、運天クラブ、運天消防団、上運天消防団、櫛屋部土建、役場、渡喜仁消防団、古守利青年会、櫛北部製糖の十一チームが参加し職域ハーリーがあり、初出場で渡喜仁消防団が四分一秒の記録で優勝の栄冠を手にした。

優勝インタビューで小那覇安夫団長は「最下位でもいいから他のチームに大きくひき離されて恥しい思いをしないようにと一週間練習に励んだが、まさか優勝とは夢のようです。これから照屋昇区長が全区民に呼びかけて優勝祝賀会を開いて下さるとのことを楽しみます」と顔をほころばせた。

そのあと約五十人男女チビツ子の前角力があり熱戦がくり広げられ、会場から大きな拍手があった。

夕方の涼しくなった頃から行われた沖縄角力大会には軽量級八人、重量級六人の選手が出場。軽量級は宮城博政選手（古守利）重量級は満名康民選手（本部町字備瀬）がそれぞれ優勝した。

募集 大正琴教室

ワープロ教室

公民館講座の一環として、大正琴教室を開いたします。大正琴の基礎を学び音色を楽しみながら心身ともに健康でより潤いのある生活をめざして実施する。

- 一、期 日 八月よりスタート
- 二、時 間 毎週水曜日午前十時～十二時
- 三、場 所 中央公民館和室
- 四、定 員 三〇名
- 五、受 講 料 月千円
- 六、講 師 鳴 格先生
- 七、申 込 先 村教育委員会

※大正琴をお持ちでない方はまとめて注文したいと思います。（購入費は約二万円）※希望者は後日説明会をもちます。

村教育委員会で情報化時代の主役ワープロの役割と使い方を学ぶ初心者向けの講座を開設します。

新機種十五台を設置して専門の先生が指導にあたります。この機会にあなたも挑戦してみたいかがでしょうか。

- 一、期 日 七月二十五日(木)から七月二十八日(日)まで
- 二、時 間 昼の部 午後一時～四時三〇分
夜の部 午後六時～八時三〇分
- 三、場 所 コミュニティセンター
- 四、定 員 昼・夜各十五名
(定員になり次第締め切る)
- 五、申 込 先 教育委員会
- 六、受 講 料 無料
- 七、申 込 期 限 七月二〇日(金)

村議会議員 知らせ 選挙の



今婦仁村議会議員選挙の投票日が9月9日に決定。

予定候補者の事務説明が8月6日(月)午後2時から村コミュニティセンター2階ホールにおいて行われます。予定候補者は全員ご出席下さい。

今婦仁村選挙管理委員会
☎56-2101 (内線38)

※大正琴教室とワープロ講座のお問い合わせは社会教育課まで。☎56-2645・56-2647

有田町・嬉野町

視察研修報告記

五月九日午前八時三〇分名護市民会館前に、名護市、本部町今帰仁村の三市町村選挙管理委員、事務局職員十四名が集合し先進地視察研修へ出発。

五月晴れの好天に恵まれイジユの花咲く高速道路を那覇空港へ、全日空一二五便で福岡空港着空港のレストランで昼食後、マイクロバスで博多駅へ。建物、道路の規模の大きさに改めてびっくり。博多駅から佐世保まで遠々とつづく佐賀平野の麦畑をひた走り夕方武雄駅に到着。

ホテルでは夕食をともしながらの懇親会が行われた。

近隣市町村ながら初対面のせいか、やや緊張した雰囲気の中お互いの自己紹介が行われ親睦を深めた。

翌朝バスで研修地の有田町へ出発。途中の商店街では陶器の店が多く、さすが有田焼の町である。有田町役場では、選挙管理委員会委員長の山下久幸氏をはじめ事務局の方々の丁寧な出迎えを受け、山下委員長が歓迎の挨拶をして下さった。

有田町は人口一万四千人、有権者数一万四千人の町である。選挙執行経費については国からの基準額で経費は賄えますかとの質問に対し「有田町では十分ではないが賄える」とのことである。有権者数六千八百人程度の今帰仁村の場合、国の基準額では不足である。また、有田町では特に委員の定例会はなく、三月の農業委員会委員選挙人名簿登録、九月の定時登録を含めて年六回程度の会が開かれている。不在者投票の受付については、一日に百人程の不在者投票を受け付けることもあるが、その事については見直しをする必要があるとのこと。

啓発事業については、明るい選挙推進協議会を通して全国で行われる各種のコンクールに小中、高生を対象に作品を依頼し出品しているということである。その他、有田町での現状や課題についてもお聞かせいただき参考になった。

鳥袋本部町選挙管理委員長の有田町の挨拶で有田町での研修をおえ、その後、有田町の小島さんの案内で九州陶磁文化会館を見学、有田は日本磁器発祥の地といわれる。その色鮮やかな陶磁器のすばらしさに皆感嘆した。有田焼の出荷額は年間三百六十億円というからさすがである。昼食をすませ、午後には次に次の研修地である嬉野町へ向け出発。嬉野町はお茶と温泉で知られた美しい水と豊かな緑の町である。午後一時すぎ嬉野町役場到着。住民課長兼選挙管理委員会事務局長の諸石健亮氏と職員の方々に迎えられ、研修会が始まった。嬉野町は人口一万九千八百人の町で有権者数一万四千人である。有田町につづいての研修でいろいろ教えていただき、嬉野町での研修を終えるにあたり、今帰仁村選挙管理委員会の私、上間がお礼の



村選挙管理委員長
上間 精光

おえ、その後、有田町の小島さんの案内で九州陶磁文化会館を見学、有田は日本磁器発祥の地といわれる。その色鮮やかな陶磁器のすばらしさに皆感嘆した。有田焼の出荷額は年間三百六十億円というからさすがである。昼食をすませ、午後には次に次の研修地である嬉野町へ向け出発。嬉野町はお茶と温泉で知られた美しい水と豊かな

おえ、その後、有田町の小島さんの案内で九州陶磁文化会館を見学、有田は日本磁器発祥の地といわれる。その色鮮やかな陶磁器のすばらしさに皆感嘆した。有田焼の出荷額は年間三百六十億円というからさすがである。昼食をすませ、午後には次に次の研修地である嬉野町へ向け出発。嬉野町はお茶と温泉で知られた美しい水と豊かな



▲有田町選挙管理委員会委員長山下氏(左)、百田事務局長(左から2番目)と三市町村の研修メンバー

な緑の町である。午後一時すぎ嬉野町役場到着。住民課長兼選挙管理委員会事務局長の諸石健亮氏と職員の方々に迎えられ、研修会が始まった。嬉野町は人口一万九千八百人の町で有権者数一万四千人である。有田町につづいての研修でいろいろ教えていただき、嬉野町での研修を終えるにあたり、今帰仁村選挙管理委員会の私、上間がお礼の

挨拶を述べ嬉野町を後にした。バスガイドの軽快な案内を聞きながら、さらに研修の旅はつづく。

登り下りの激しい道路をひた走り、大村湾のオランダ村にバスは到着した。水車小屋や博物館などが立ち並び幕末当時のオランダとの交易を再現した大規模な観光地「オランダ村」を見学。その後長崎市内へと向かう。ロープウェイで山頂の展望台へと登ったが、長崎の夜景は百万ドルの夜景と言われるだけあって眺望はすばらしい。

翌日五月十一日は長崎市内を観光。平和公園、国際文化会館大浦天主堂、グラバー園などを視察。国際文化会館の原爆被災写真を見、改めて戦争のむごさ恐ろしさを実感した。

午後二時長崎市内をあとに福岡へ。

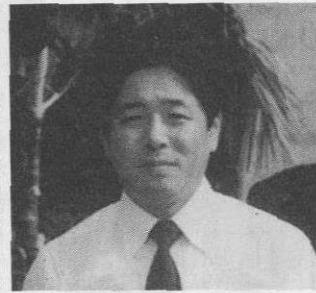
研修の旅もいよいよ最後となり三市町村の委員は、今回の研修の成果を確かめあい、今後の交流について話し合った。

五月十二日全日空百二十五便にて那覇空港到着。これで三泊四日の九州研修旅行の全日程が終了した。

今年には地方選挙の当り年ですが今回の研修の成果を大いに反映させていきたいと思っております。

酒田市議会議員が福祉行政視察

長寿村「なきじん」研修



佐藤民生常任委員会副委員長

五月十六日交流の深い山形県酒田市議会民生常任委員会の一行八名が今帰仁村を訪れた。

一行は今帰仁村の福祉行政視察のため来村されたが、視察に当たり大城勝助役より村勢全般の説明があり、その後金城吉信厚生課長から福祉行政の取組みと現状についての説明がなされた。

沖繩県は日本一の長寿県であるが中でも今帰仁は長寿で元氣な方々が多く福祉行政における老人福祉のニーズはきわめて高い。そのニーズにこたえて※ホームヘルパー 日常生活に支障のある高齢者の家庭を訪問し介護や家事サービスを提供する事業。※ショートステイ 寝たきり老人の家族や介護者に代わって特

別養護老人ホームで短期間高齢者をお世話する事業。※ふれあい給食サービス ひとり暮らしやふたり暮らしの老人などの老人たちを対象に温かい食事を届ける友愛訪問活動の一環としての事業。※ひとり暮らしや寝たきり老人世帯への非常ヘル設置。※寝たきり老人の介護技術講習会事業。※老人ホーム乙羽園との連携事業。※福祉電話、日常生活用具給付事業。※毎月行われる北山老人大学の諸活動事業。

※デイサービス コミュニティセンターにおいて老人の方々をバスで送迎し入浴、食事、健康チェック、日常動作訓練などのサービスをこなす事業などを実施している。

村内には九十才以上の方が百四十八名いらっしゃるが中でも百四才の嘉陽マツさんを始め百才以上の方が六名と長寿村である。こうした説明を受けて酒田市の議員の皆さんの中には「このように長生きするためにはどのような食生活をしているのですか?」とか「暖かい気候とゆ

ったりした生活のリズムがいいのでしょうか?」といった質問があいつぎ、長寿の秘訣を学びたいと福祉のあり方についても熱心に討論がなされた。

また、一行は「おとば学園」を訪れ木工製品など園生がつくった作品にふれ、なごやかな懇談の時をすごした。

その後山城辰雄議長、上里朝栄副議長、議会事務局職員の内案で畜産セリ市場で子牛のセリ市の様子を見学し、乙羽岳今帰仁城跡などを見てまわった。夕方から行われた懇親会の席では山城辰雄議長と大城勝助役、西



▲おとば学園で園生の作業状況を視察する酒田市議会議員一行

島一將教育長が歓迎のあいさつをし、それを受けて酒田市議会民生常任委員会副委員長の佐藤藤弥氏は「今帰仁村の皆様には酒田市民が大勢お世話になり言葉につくせない程感謝の気持ちでいっぱいです。リゾート大学沖繩酒田村に参加された方々は心から沖繩での楽しいふれあいを喜んでおります。

今帰仁村は全国でも一、二を誇る長寿村と聞いております。今回こうして福祉について勉強させて頂きましたが、長生きが

福祉の原点だと思えます。ここで学んだことを参考にさせていただきます。また今年も「ふるさと創生事業」の一環として、今帰仁村の小・中・高校生の皆さんが約五十人酒田市において交流学習を行なうと聞いております。ますます交流の輪が広がることはすばらしいことです。心から歓迎しお待ちしております」とあいさつ。

今帰仁の銘酒「ふるさと」を飲み交しながら夜遅くまでなごやかに懇親会は続いた。

上運天区長に金城美恵子さん

五月から上運天の区長が宮城辰夫さんから金城美恵子さん(上運天四二九、電話五六一二二三六)にかわりました。

これまで頑張ってきた宮城さんご苦労様でした。新区長の金城さんは十三年間書記として勤めてこられた区行政のベテランです。皆さんのご協力をお願いします。



上運天区長 金城美恵子さん

商工観光の振興と 経営の改善を進める

商工会 総会

平成二年度の村商工会（仲原孝夫会長）の通常総会が五月三十日午後三時から商工会館で行われた。

総会では、平成元年度事業報

告・収支決算、平成二年度事業計画・収支予算、運営資金の借入限度額の承認、定款の一部改正が行われた。

総括概要では、商工会館が建設されて会館の利用が多くなり経営改善普及事業の推進などにより年間に三十回余の講習会や会議が開催された。国、県金融機関など数多くの制度資金の活発な利用を強力に押し進めることが地域商工業者の活性化に結びつき、ひいては今婦仁村の経済発展につながるとしている。

また今年度は

- ① 県内企業視察研修
- ② 簿記講習会

③ 債権講習会

④ 村まつり事業協力

⑤ 経営、経理講習会

⑥ 調和のとれたリゾ

ート建設の調査、研究

⑦ プランターなどを

利用した緑と花の

ある心豊かなふる

さとづくりの推進

を図り、経営の知

識及び技術の向上

と健全な地域社会

の建設に努めてい

くことにしている。

▲新年度の事業計画・予算について討議する会員



保健婦室だより

婦人ガン検診 を受けよう!



ほんの少し

勇気を出して

日々刻々と変化する社会の中で今や人はだんだん「ガン」をつくりやすい状況をつくりつつあるように思えてなりません。私たちが癌という病気を理解し、予防していくことは難しいことですが、必要なことです。自分自身の体とはいえ、自覚症状のない段階で病気をみつめることは容易ではありません。

昨年、村の集団検診の結果、子宮ガン検診六百七十四人、乳ガン検診四百二十四人中、精密

検査を受けた方に癌はありませんでした。検診は、早期の病気をみつめる唯一の方法です。今まで一度も検診を受けたことのない方、自覚症状の気になる方2-3年に一度くらいで良いと考えている方も少なくとも年に一度、検診でチェックしていただきましょう。お隣り近所声をかけあつて一人でも多くの方が受けられますよう御協力よろしくお願い致します。

なお、検診についてのご質問
ご意見を厚生課までお寄せ下さい。
電話五六二一〇一

年に一回定期検診を 婦人ガン検診の お知らせ

老人保健法による子宮ガン、乳ガン検診を表のとおり実施します。ぜひ検診を受けて下さい。対象者30才以上の婦人（30才未満の方も可能）

子宮ガン・乳ガン検診

受付時間 12時30分～13時30分

料 金 400円

乳ガン検診料 100円

非課税者、70才以上、国民健康

保険加入者の料金は免除になります。

なお、対象の字で都合の悪い

方は、他の検診日を御利用くだ

さい。

子宮がん、乳がん検診実施日程表

検診月日	曜日	場所	対象区域
7月2日	月	コミセン	今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次
7月9日	月	"	崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根
7月30日	月	"	玉城、呉我山、湧川、天底
8月2日	木	"	勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利
11月21日	水	"	村全体(上記日程にできなかった方)



愛の献血月間

7月1日～7月31日

あなたのご協力を
お願いします

仲尾次のハサギと公民館

仲尾次の公民館に二枚の印象深い写真が掲げられている。どなたが撮影した写真なのか、まだ確認していないが、その方が当時のことをうかがってみたいと思っている。

一枚はハサギに合せてジャケットが切られた写真である。赤瓦屋根のハサギができて、間もない昭和二十八年か二十九年の写真である。ハサギのあった場所は現在の場所ではなく、もっと手前であった。現在のハサギの前はワイトウイとなり、与那嶺蒲助氏（故人）の家の前に通じる道路となっていた。北山高等学校の運動場を造成していたブルトーザーを借りて、ワイトウイを敷きならしたという。

ハサギの屋根は赤瓦で真白いムチ（漆喰）が見え、塗りたてられたばかりといったところか。ハサギの正面は未（南南西）の方向に向き、本来のハサギの形に屋根と正面部分を神社風に趣向がこらされている。建設費用は、B円で二万五千円であったという。当時、まだ茅葺き屋根が一般的であった中で、



▲昭和28～29年頃のハサギと公民館・青年クラブ



▲昭和30年の「仲尾次園芸組合共同集荷場」とハサギ

奇抜な印象を与えたのではなかったかと思う。ハサギの正面に門松が立ててあり、正月から日がまたたっていない頃である。

ハサギの後方にある二棟建ての茅葺き屋根の建物は、ムラヤ（村屋）と青年クラブを兼ねた建物である。民家風に言え

ば、右側がウブヤ（母屋）で左側のハサギに隠れた建物がトウングワー（台所）である。屋根の所々に新しい茅が挿され、アマハジの所にカンデエイシが置かれている。戦後すぐつくられた建物であろうが、壁板が朽ちているのが目につく。何

呼あったか、まだ聞いていない

が民家とそう変わらない規模のようである。

真新しいハサギと後方に建っている茅葺き屋根のムラヤとの対比は、素朴さと懐かしさが伝わってくる。と、同時に何か時代に取り残されたような雰囲気

にこそおられる。二枚目の写真は、昭和三十年に公民館が「仲尾次園芸組合共同集荷場」として建設された。その後、間もない頃の写真である。当初、公民館としてではなく、看板に掲げられているように「仲尾次園芸組合共同集荷

場」として、琉球政府から交付された補助金で建設された。瓦屋根のモダンな建物は、B円で十九万八千円かかったという。区長渡名喜長栄氏、書記仲里昭一氏の時代である。仲尾次園芸組合の集荷場として、長い間使われ、一方で公民館（ムラヤ）としても使われた。最初の頃、土間であったが後に床が敷かれた。園芸組合は資金的に余裕ができたので、新しく集荷場を売店の東側に建て移動し、公民館として利用され現在に至っている。

ハサギの建立が昭和二十八年、その二年後に公民館が「仲尾次園芸組合共同集荷場」として建てられた。一枚の写真の対比は、古い伝統的な物から新しい物へと変わっていく、まさに時代の節目を見せつけている。それから、すでに三十年余りがたっている。

二枚の写真を見てみると、戦後四十年余の時間の重さと回りの様々な変化に驚いてしまう。刻々と移り変わる回りの変化に気付かなかつたり、あるいは気付いていても、なかなか記録することなく過ごす場合が多い。戦後にしろ、その時どきの記録の大事さを二枚の写真が教えてくれる。

仲原弘哲（歴史資料館準備室）

今帰仁村 税の作文・標語コンクールに ふるって応募

村では、次のとおり「税の作文・標語コンクール」を実施いたします。税の基本は、自主申告・自主納付ということにあり、正しく申告して納期内納付することが原則であります。そして取られる意識から進んで納めるという意識へ向上させることが、当面する税務行政の課題であります。そこで税に対する意識を深め、社会の仕組みを学ばせるという観点から、学校教育の場でも税制度について関心を持たせる必要があります。

税の作文・標語コンクールは、日頃児童・生徒、一般村民が税にどのような関心と意識を持っているかということとを把握するとともに、発表の場を提供することによって、税務行政のより一層の発展を期するために実施するものであります。

1. 応募資格
 - ① 作文部門：村内の小学生・中学生・高校生・一般村民
 - ② 標語部門：村内の小学生・中学生・高校生・一般村民
2. 応募期間：8月1日～9月15日
3. 実施主体：今帰仁村
4. テーマ

税に関することであれば何でも結構ですが次のような例を参考にしてください。

作文部門

- 税や税務署、役場についての意見
- 税について学校で学んだことについての意見
- 税についての家族の体験談やまわりの方の話を聞いて自分で考えたこと

標語部門

- 納税の意識向上につながるような力強いもの
- リズムがあり、税が社会の中で活かされている様子がうかがえるもの

★例 むらづくり まずはあなたの 納税で
この社会 あなたの税が いきている 納税は一人一人の気持ちから

5. 応募点数と作成要領
 - ① 各部門とも一人1点とし、どの部門にも応募できるものとする。
 - ② 作文は1編1200字程度とし、400字詰原稿用紙を使用する。
 - ③ 標語はB-5判程度の白紙を使用する。
 - ④ 作文・標語とも末尾に住所・氏名・電話番号・年齢・学校名・学年を明記する。
 - ⑤ 募集についてはチラシ・広報・立看板を利用する。
6. 表彰
 - ① 各部門とも5～6点に優秀賞を与える。
 - ② 各部門の優秀者には、賞状と副賞（生徒には図書券、一般には記念品）を授与する。
 - ③ 応募者全員に参加賞を授与する。

7. 今後の活用
 - ① 優秀者は11月の納税表彰式で表彰する。
 - ② 優秀作品は、広報チラシ等で広く村民に紹介する。
 - ③ 標語は、立看板・納付通知書等に印刷し啓発を図る。
 - ④ 税を知る週間等で紹介する。

心身障害児(者)巡回療育 相談事業実施

お気軽にお越し下さい

沖繩整肢療育園では、在宅で手足や体幹部の不自由な子供、大人及びその保護者に対して巡回により、各種の悩みや問題に関する相談に応ずるとともに、家庭教育や家庭環境に関する必

要な助言、指導を行なうことにより、障害児(者)やその家庭の福祉向上を図ることを目的に沖繩県の委託により北部地区を対象に巡回療育相談を行なうことになっていきます。各種診断書の発行や補装具の交付等も行ないますのでお気軽にご相談下さい。詳しいことについては役場厚生課までご連絡下さい。電話五六二二〇一 日程は下記のとおりです。

巡回療育相談事業実施計画表

日 時	実施場所
8月12日(日) 午前10時～午後4時	名護市民会館内 社会福祉センター
10月14日(日) 午前10時～午後4時	"
12月9日(日) 午前10時～午後4時	"
2月10日(日) 午前10時～午後4時	"
相談スタッフは医師、看護婦、理学療法士、相談員の方々です。	

タックス コーナー

税について

考えてみませんか

No.2

今回は、村税のあらましについて説明しましょう。前回
の広報で、村税には固定資産税
法人・個人村民税、軽自動車税
特別土地保有税、たばこ税等が
あることを申し述べましたが、
今回は税目については説明し、詳
しい内容については順を追って
解説いたします。

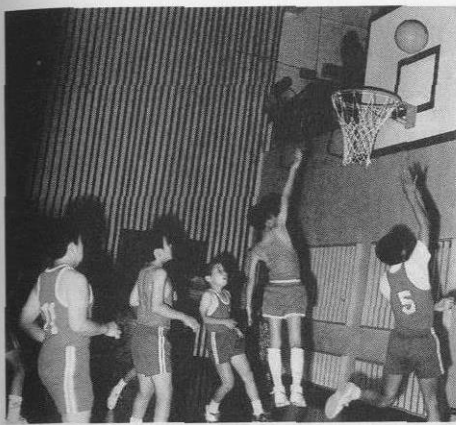
まず固定資産税は、毎年一月
一日現在で、土地・家屋・
償却資産を所有している人が、
その固定資産の価格をもとに算
定される税額を村に納める税金
です。納税者は原則として所有
者ですが、賦課期日前に本人が
死亡している場合は、土地・家
屋を現に所有している人が納税
義務者となります。

住民税は、私達が県や村に納
めるものですが、その中に
は税金を負担する能力のある人
が均等の額によって負担する均
等割、その人の所得に応じて負
担する所得割があります。住民
税の中には直接本人から徴収す
る普通徴収と、職場の給料から
差引かれる特別徴収があります
で原動機付自転車、軽自動

車、小型特殊自動車、二輪の小
型自動車の所有者に課される税
金です。税額は、車種によって
異なりますが、年額千円～七千
二百円の範囲となっています。
特別土地保有税は、一万平方
メートル以上の土地の取得
十年間の保有にかかる税金で
す。納税義務者は、毎年一月一
日現在の所有者で、保有につい
ては五月、さらに取得について
は、二月、八月の末日までに申
告納付することになっています。

市町村たばこ税は、卸売販売
業者が村内の小売業者にた
ばこを売り渡した時にかかる税
金で、卸売業者が納税します。
税額は、千本につき一・九九
七円です。





▲ジャンプ一番ナイスシュート

「ミニバスケットのもっている面白さを子どもたちに経験させ、決まりを守り協力してプレイできるように態度を身につけさせるとともに青少年の心身の健全な発達をはかる」ことを目的に第十九回少年少女ミニバスケットボール大会が村教育委員会の主催に

少年少女ミニバスケットボール大会

優勝 ● 今泊 男子 ● 古宇利 女子

村体育協会（大城勝会長）主催の第二十三回職域野球大会において、職域の部で本部町今帰仁村消防組合が、同好会の部で湧川マリースがそれぞれ初優勝した。

大会には職域五、同好会七チーム出場。職域の部の決勝戦は

初優勝

● 消防組合 ● 今泊 ● 湧川 ● 本湧

第23回

職域野球大会

本部町今帰仁村消防組合と村役場Aが対戦。四対一で本部町今帰仁村消防組合が優勝。

次の選手に個人賞が贈られた。殊勲賞―崎浜秀昭（本・今消防）敢闘賞―山内篤（村役場A）、打撃賞―三島清弘（本・今消防）新城満（本・今消防）。

一方、同好会の部の決勝戦は湧川マリースと今泊クラブで行われ、十四対二の大差で湧川マリースが優勝。

殊勲賞―澤岬博光（湧川マリース）、敢闘賞―仲本満（今泊クラブ）、打撃賞―石川清隆（今泊クラブ）、澤岬正樹（湧川マリース）の各選手でした。



▲初出場で初優勝の湧川マリースナイン

より、六月十日湧川小中学校体育館で開催された。

午前八時三十分より開会式が行われ、西島一將教育長の激励のあいさつ、新城一文審判長の諸注意があり試合開始。

この大会は小学校の男女を対象にしたもので、男子八チーム女子十チームが参加。家族や友人の見守る中、熱戦がくり広げられた。

優勝戦は男子が今泊チームと渡喜仁チームの対戦の結果、十六対十一で今泊チームが、女子は三十二対二十八で古宇利チームが湧川チームを下しそれぞれ優勝した。



みんなの未来を考えるために

- 平成二年十月一日は国勢調査の日
- 調査対象は約一億二千四百万人
- あなたもその一人です

今年（平成二年）国勢調査の傾向、人口の社会的構造、産業構造、居住の状況等を適切に把握するための調査で、五年に一度行われ、大正九年の第一回調査から数えて今回は十五回めにあたります。更に今回は十年ごとに行う大規模調査となつてい

ます。赤ちゃんからお年寄りまで日本に住んでいる全ての人が対象となり、その数は約一億二千四百万人に及ぶと見込まれていま

す。今回の調査は二十二項目です。その主な特色をいくつかあげてみましょう。

(一)高齢化社会の実態を明らかにします。

わが国の総人口に占める六十五才以上人口の割合は、前回調査を行った昭和六〇年に初めて一割（十・二％）を超えました。そして現在もその割合は更に高まっています。今回の調査では人口の高齢化の進行状況や高齢者の就業状況、高齢者のいる世帯の状況などを高齢者に関する統計の充実を

図ることにしています。

(二)産業構造の変化を明らかにします。

第三次産業の就業者の割合は昭和五〇年に五一・八％、昭和六〇年には五十七・三％まで上昇してきました。

わが国の経済が高度成長から安定成長へと移行するともに、経済のサービス化が進んでいます。そこで地域別に産業構造の変化を明らかにします。

(三)人口移動、通勤、通学の実態を明らかにします。

人口移動に関する統計は地域別人口の分析や将来人口を推計する基礎資料になります。

近年、都市を中心とする地価高騰や交通機関の整備等により、通勤圏は都市の中心部から外側へ拡大してきました。

そこで今回の調査では新たに通勤、通学時間を調べその実態をより詳細にします。

国勢調査が行われて、今年で七〇年を迎えます。今回はその調査の重要性に視点をおき、その調査結果が私達の暮らしのうえでどのように活用されているかを

お知らせしたいと思います。

親と子がともに 成長するために

内容も充実
家庭教育級
始まる



「子は親のうしろ姿をみて育つ」と言われるように、家庭教育において、親はその子供の成長過程で最も身近にいる指導者であり、親の行動や考え方は子供に強い影響力を持つといわれています。

親が自信をもって、子供の「しつけ」、「教育」ができ、心身ともに健やかな子供に育てるためにお互いにいい父親、母親になるよう学習していく家庭教育級に参加しませんか。

教育委員会では多くの方々の参加を呼びかけています。各学校区ごとのプログラムは表のとおりです。詳しいことについては社会教育課にお問い合わせ下さい。

電話 五六二二六四五
五六二二六四七

学・級・プ・ロ・グ・ラ・ム

	回	1	2	3	4	5	6	7	8
今帰仁小学校区	月/日	6月21日	7月13日	8月上旬	9月中旬	10月9日	11月中旬	12月中旬	1月26日
	学習方法	開講式 講和	料理 実習	親子学習	レクリエーション	講 演	親子学習	講 話	
	学習内容	家族の役割	子どものおやつ作り	海の生物たち	運動会にむけてふるさとの民踊	共働き家庭での子供の家庭学習	宇宙を探る(星の観察)	性教育について	
	時 間	2	2	4	2	2	4	2	
	講 師	親子訓練インストラクター 宮里 マチ子	栄養士 上原 めりよ	海洋博公園 内田 詮 三	体育指導委員 諸喜田スエ子 他	琉大教授 石川 清 治	日本基督教団 兼次教会牧師 村上 仁 賢	与勝中学校 羽地 良 正	
兼次小学校区	月/日	6月15日	7月18日	8月4日	9月17日	10月24日	11月20日	12月18日	
	学習方法	開講式 講話	講 演	親子学習	レクリエーション	講 演	移動学習	一般教養	
	学習内容	子供の健康と食生活	家庭教育について 一命の尊さ	焼き物教室	運動会に向けて	ふるさとの歴史	アメリカンスクール視察研修	押し花づくり	
	時 間	2	2	4	2	2	8	4	
	講 師	給食センター 栄養士 上原 めりよ	村教育委員 長 黒島 直 太	あはん工 原 徳 七	体育指導委員 諸喜田スエ子	歴史資料館 準備室 学芸員 仲原 弘 哲	村教育委員会 アメリカ領事館	ナゴバラダイス ガーデン職員	
湧川小学校区	月/日	6月15日	7月25日	8月5日	9月14日	10月15日	11月15日	12月12日	
	学習方法	開講式 講話	映写会及び講演	親子学習	レクリエーション	講 演	趣 味	料理実習	
	学習内容	これからの子供の教育	性教育について	手工芸(ヤンバルの素材を利用して)	運動会に向けて	家庭教育を考える	墨 絵	炊飯器でのケーキ作り	
	時 間	2	2	2	2	2	2	2	
	講 師	教育委員会 湧川小学校 島袋 政 春	名護小学校 金城 キミ子	湧川小学校 島袋 政 春	体育指導委員 諸喜田スエ子	元名護市教育 長 比 嘉 太 英	湧川小学校 島袋 政 春	上間 トシ子 石川 千賀子	
天底小学校区	月/日	6月11日	7月10日	8月3日	9月19日	10月12日	11月10日	12月20日	
	学習方法	開講式 講話	一般教養	親子野外学習	レクリエーション	趣 味	講 演	料理学習	
	学習内容	家庭学習について	着付け教室(盆踊りに向けて)	自然や珍しい動植物について学習する	運動会に向けて	木工細工	明るい家庭づくり	炊飯器でのケーキ作り	
	時 間	2	2	2	2	3	2	2	
	講 師	北山高校教頭 大城 栄 康	諸喜田スエ子	名護動植物公園 部長 石井 勉	体育指導委員 諸喜田スエ子	おとぼ学園 運 天 初 子	伊志嶺 祥 恵	上間 トシ子 石川 千賀子	
古宇利小学校区	月/日	6月9日	7月14日	8月上旬	9月22日	10月13日	11月11日	12月22日	
	学習方法	開 講 式 レクリエーション	講話 実習	親子学習	講 演	料理実習	古宇利小学校 一〇〇周年記念事業	親子学習	
	学習内容	運動会に向けて	健康と食生活 食品添加物と実験	昔の玩具を作る	子供と読書 創造性豊かな子供を育てるには	子供の歯の健康とおやつにあたえた		映画鑑賞	
	時 間	2	2	4	2	2		2	
	講 師	教育委員会 体育指導員 伊良波 悦子	県消費生活センター	伊良波 幸三	子供の本研究会 徳 田 演	給食センター 栄養士 上原 めりよ		教育委員会	

合同開講式 記念講演 2時間 教育委員会



文月



●村民カレンダー

1990年

7/1日	○国頭郡野球大会(宜野座村営球場) 宜野座高等学校	17火	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
2月	○子宮ガン、乳ガン検診(12:30コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン)	18水	○兼次小家庭教育学級(19:30~21:30今泊公民館) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
3火	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)	19木	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
4水	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)	20金	○平和祈願祭(14:00村慰霊之塔) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○一般健康相談(9:00~11:00保健婦室) ○安産教室妊産婦食実習(13:30~16:00コミセン)
5木	○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	21土	○子どもキャンプ講習会(15:00~総合運動公園) ○ことばの教室親子キャンプ(12:00~コミセン) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
6金	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	22日	○子どもキャンプ講習会(~12:00総合運動公園) ○ことばの教室親子キャンプ(~12:00コミセン)
7土	○一般健康相談(9:00~11:00保健婦室) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)	23月	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
8日	○第8回少年の主張大会(9:00~コミセン)	24火	○北山老人大学(14:00~16:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
9月	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(13:00~17:00コミセン) ○子宮ガン、乳ガン検診(12:30~16:00コミセン)	25水	○湧川小家庭教育学級(19:30~21:30湧川小) ○第4回農業委員会総会(14:00役場2階会議室) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)
10火	○天底小家庭教育学級(19:30~21:30中央公民館) ○子豚セリ市(13:00~家畜セリ市場) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~21:00コミセン)	26木	○ワープロ教室(13:00~16:30中央公民館) 18:00~20:30 ○子豚セリ市(13:00家畜セリ市場)
11水	○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)	27金	○ワープロ教室(13:00~16:30中央公民館) 18:00~20:30 ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン)
12木	○高齢者学級(14:00コミセン) ○ことばの教室(19:00~12:00コミセン)	28土	○一般健康相談(9:00~11:00保健婦室) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
13金	○今帰仁小家庭教育学級(14:00~16:00中央公民館) ○乳児健診(13:00~14:00コミセン和室) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	29日	○親子劇場(14:00映画、演劇、コミセン) ○国頭郡ソフトボール大会(恩納村)
14土	○古宇利小家庭教育学級(14:00~16:00古宇利小) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	30月	○子宮ガン、乳ガン検診(12:30~16:00コミセン) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)
15日	○一般健康相談(9:00~12:00保健婦室) ○第7回ホッケー交流大会(8:20ホッケー場)	31火	○固定資産税第2期納期 ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン) ○手話サークル(19:30~21:00コミセン)
16月	○牛のセリ市(11:00家畜セリ市場) ○デイサービス(10:00~17:00コミセン) ○ことばの教室(9:00~12:00コミセン)	8/1水	○農地バトロール ○農地無断転用防止対策強化月間(8/1~8/31) ○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン)

きたらと夢はふくらむ。

今やテレビを通して身近な情報が村から街へ、電波に乗ってさらに全国へと伝えられている。今帰仁村の広報の分野も、活字だけでなく映像を通してより豊かな情報を伝えることができた。

人間社会が、発展を遂げるこ
とができた理由のひとつは言語
によるコミュニケーションを産
みだしたことである。言葉は違
うにしろ、世界の人々と言葉に
よってコミュニケーションを図
っている。

■この頃、痛切に感じることは
映像文化が私たちの暮らしと強
い関わりを持ち始めていること
である。例えば、山形テレビに
民宿「まるや」の山城義秀さん
夫妻が出演、NHKに古宇利島
の区民が架橋実現の要請とウニ
漁、村チヨウであるフタオチヨ
ウの乱獲の様子、座間味栄穂さ
んのミニチュアの馬車作り、今
泊の福木並木や仲原馬場、テレ
ビ東京による今帰仁城跡、沖縄
テレビでは源為朝上陸跡之碑と
運天トンネルなどの紹介。

